

令和 5 年度

(2023 年度)

主要な施策の成果報告書

秦 野 市

令和５年度主要な施策の成果について

地方自治法第２３３条第５項の規定に基づき、令和５年度秦野市一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計及び後期高齢者医療事業特別会計決算における主要な施策の成果報告書を提出します。

令和６年９月４日

秦野市長 高橋 昌和

目 次

I	市政の背景	1
II	財政指標	2
III	各会計決算規模	3
IV	一般会計	
1	一般会計決算の概要	7
2	款別歳入決算状況	8
3	款別歳出決算状況	10
4	主な事業の概要と成果	
(1)	議会費	12
(2)	総務費	16
(3)	民生費	55
(4)	衛生費	96
(5)	農林費	127
(6)	商工費	146
(7)	土木費	165
(8)	消防費	185
(9)	教育費	198
(10)	公債費	231
V	国民健康保険事業特別会計	235
VI	介護保険事業特別会計	247
VII	後期高齢者医療事業特別会計	263
VIII	附表	269

I 市政の背景

1 国の経済財政運営の取組

「令和 6 年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度（令和 6 年 1 月 26 日閣議決定）」によると、今後の経済財政運営に当たっては、「新しい資本主義」の旗印の下、社会課題の解決に向けた取組それ自体を成長のエンジンに変えることによって、民間需要主導の持続的な成長とデフレからの脱却、「成長と分配の好循環」の実現を目指すとしている。

総合経済対策を着実に実行し、物価高対策とともに、国民の可処分所得を下支えするための対策を講じるとともに、持続的で構造的な賃上げの実現に向け、その環境整備や中小企業等の価格転嫁の円滑化、リ・スキリングによる能力向上の支援など、三位一体の労働市場改革等に取り組むとしている。

また、生産性向上・供給力強化を通じて潜在成長率を高めるための国内投資の拡大の促進とともに、科学技術の振興及びイノベーションの促進、グリーントランスフォーメーション（GX）、デジタルトランスフォーメーション（DX）、半導体・AI 等の分野での投資促進等に取り組むとしている。

さらに、人口減少の中でも持続的に成長できる経済構造の構築に向け、デジタル技術の社会実装や制度・規制改革に取り組むとともに、少子化対策・こども政策の抜本強化を図り、包摂社会の実現に取り組むとしている。

経済財政運営については、経済の再生を最優先課題とし、歳出構造を平時に戻していくとともに、データを活用したEBPMやPDCAの取組を推進することにより、効果的・効率的な支出を徹底するとしている。

2 国の経済情勢

令和 5 年度は、30 年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、経済には前向きな動きが見られ、デフレから脱却し、経済の新たなステージに移行する千載一遇のチャンスを迎えている一方、賃金上昇は、輸入価格の上昇を起点とする物価上昇に追いついておらず、個人消費や設備投資は依然として力強さを欠いており、また、潜在成長率が 0 パーセント台の低い水準で推移しているという課題もあるとしていた。

こうした中、令和 5 年度の国内総生産の実質成長率はプラス 1.0 パーセント、名目成長率はプラス 5.0 パーセントとなった。

Ⅱ 財政指標

令和５年度の一般会計から神奈川県後期高齢者医療広域連合が行うべき成人健康診査分の控除等をした普通会計の主な財政指標を見ると、財政構造の弾力性を判断する指標の一つである経常収支比率は、９５．０パーセント（臨時財政対策債等を経常一般財源から除いた場合は、９６．１パーセント）で前年度（９５．７パーセント）と比較して０．７ポイント減少している。その要因としては、重層的支援体制整備事業を介護保険事業特別会計から一般会計へ移管したことなどにより、分子となる経常経費充当一般財源等が増加したものの、地方税や株式等譲渡所得割交付金の増加等により、分母となる経常一般財源等が増加し、分母の増加が分子の増加を上回ったことによるものである。指定都市を除く県内１６市の経常収支比率の平均は、９６．０パーセントで、本市はこれを１．０ポイント下回っている。

次に、地方自治体の財政基盤の強弱を表す財政力指数（単年度）は、前年度から０．０１１ポイント減少して０．７８４となり、引き続き普通交付税の交付団体となっている。県内１６市の平均は０．８９７であり、本市はこれを０．１１３ポイント下回っている。

次に、地方債の年度末現在高は、３１７億７，０５４万４，６５１円で、令和３年度に普通交付税で追加交付された臨時財政対策債償還基金費を財源とした繰上償還を実施したことなどにより、前年度末（３４０億３，９６０万５，９３０円）に比べ、２２億６，９０６万１，２７９円減少した。また、債務負担行為に基づく翌年度以降支出予定額を含めた実質債務残高比率は、１４０．６パーセントで、前年度（１５１．６パーセント）に比べ１１．０ポイント減少した。県内１６市の平均は、１６８．３パーセントで、本市はこれを２７．７ポイント下回っている。

本市を取り巻く財政状況は、経済の正常化が進んできたものの、今後も人口減少、少子・高齢化の進行により、市税が伸び悩む。一方で、社会保障費が増加していくことに加え、デジタル化の推進やカーボンニュートラルの実現、物価高への対応など、新たな課題への迅速かつ的確な対応も求められるなど、厳しい財政状況が続くことが見込まれる。

このような厳しい財政状況にあっても、財政の健全性を維持しながら、誰もが住みたい、働きたい、何度でも行ってみたいと思う、魅力あふれる「全国屈指の森林観光都市」の具現化を進めるため、表丹沢や小田急線４駅など、本市の魅力や特色を生かした取組や、市民が安心して子どもを産み・育てられる環境の整備を進めていく必要がある。

Ⅲ 各会計決算規模

歳 入

単位：円

会 計 名		令和5年度		令和4年度		比 較	
		決 算 額	構 成 比 %	決 算 額	構 成 比 %	増 減	伸 率 %
一 般 会 計		59,666,869,299	63.8	58,011,425,962	63.8	1,655,443,337	2.9
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	17,240,258,248	18.4	16,637,779,560	18.3	602,478,688	3.6
	介 護 保 険 事 業	13,740,792,960	14.7	13,559,845,250	14.9	180,947,710	1.3
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	2,890,389,616	3.1	2,708,799,123	3.0	181,590,493	6.7
合 計		93,538,310,123	100.0	90,917,849,895	100.0	2,620,460,228	2.9
公 営 企 業 会 計 ※1	水 道 事 業	3,306,366,286	—	2,981,349,610	—	325,016,676	10.9
	公 共 下 水 道 事 業	4,879,620,136	—	5,259,770,887	—	△ 380,150,751	△ 7.2

歳 出

単位：円

会 計 名		令和5年度		令和4年度		比 較	
		決 算 額	構 成 比 %	決 算 額	構 成 比 %	増 減	伸 率 %
一 般 会 計		57,094,835,793	63.1	55,031,902,464	63.0	2,062,933,329	3.7
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	17,187,741,709	19.0	16,521,643,943	18.9	666,097,766	4.0
	介 護 保 険 事 業	13,540,661,963	14.9	13,286,551,051	15.2	254,110,912	1.9
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	2,723,283,818	3.0	2,571,814,206	2.9	151,469,612	5.9
合 計		90,546,523,283	100.0	87,411,911,664	100.0	3,134,611,619	3.6
公 営 企 業 会 計 ※2	水 道 事 業	3,415,525,348	—	3,057,971,527	—	357,553,821	11.7
	公 共 下 水 道 事 業	5,138,918,082	—	5,378,835,879	—	△ 239,917,797	△ 4.5

※ 1 公営企業会計の歳入（収入）は、総収入額から長期前受金戻入等を除いた額で表示しています。

※ 2 公営企業会計の歳出（支出）は、総支出額から減価償却費を除いた額で表示しています。

IV 一 般 会 計

1 一般会計決算の概要

令和5年度決算額は、歳入総額596億6,686万9,299円に対して、歳出総額570億9,483万5,793円、差引き25億7,203万3,506円で、この額を翌年度に繰り越すことになるが、繰越金のうちには、継続事業である「庁舎維持管理費」の通次繰越額1,008万円、「安全確保対策事業費」など5件の繰越明許費3,493万4,250円、また、「国庫関連通学路整備工事費」の事故繰越し52万9,600円、合わせて4,554万3,850円の繰越財源が含まれているため、それを差し引いた純繰越金は、25億2,648万9,656円となる。

なお、この純繰越金のうち10億2,000万円は、翌年度に繰り越さないで財政調整基金に編入した。

前年度と比較すると、歳入では、前年度（580億1,142万5,962円）に対し、16億5,544万3,337円の増額（前年度比2.9パーセント増）、歳出では、前年度（550億3,190万2,464円）に対し、20億6,293万3,329円の増額（前年度比3.7パーセント増）となっている。

歳入の主なものは、自主財源としての市税227億9,165万5,266円、繰入金20億7,574万3,334円、繰越金18億1,952万3,498円などがあり、依存財源としては、国庫支出金127億3,048万7,411円、地方交付税58億584万7,000円、県支出金44億2,146万9,663円などがある。

一方、歳出においては、民生費276億3,035万3,398円、土木費58億5,158万2,192円、総務費53億8,689万4,524円、衛生費48億4,753万434円、教育費44億8,156万3,075円が主なものである。

歳出の予算現額に対する執行率は、92.7パーセント（翌年度繰越額を除いた場合は、93.9パーセント）であった。

2 款別歳入決算状況

款	予 算 現 額 A	調 定 額 B	収 入 済 額 C
1 市 税	22,600,000,000	23,587,428,371	22,791,655,266
2 地 方 譲 与 税	356,000,000	365,496,000	365,496,000
3 利 子 割 交 付 金	8,000,000	7,129,000	7,129,000
4 配 当 割 交 付 金	190,000,000	175,770,000	175,770,000
5 株式等譲渡所得割交付金	135,000,000	194,514,000	194,514,000
6 法 人 事 業 税 交 付 金	214,000,000	332,352,000	332,352,000
7 地 方 消 費 税 交 付 金	3,788,000,000	3,621,561,000	3,621,561,000
8 ゴルフ場利用税交付金	84,000,000	93,339,143	93,339,143
9 環 境 性 能 割 交 付 金	70,000,000	91,200,182	91,200,182
10 地 方 特 例 交 付 金	155,000,000	161,882,000	161,882,000
11 地 方 交 付 税	5,808,789,000	5,805,847,000	5,805,847,000
12 交通安全対策特別交付金	20,350,000	17,461,000	17,461,000
13 分 担 金 及 び 負 担 金	349,821,000	348,791,314	341,653,777
14 使 用 料 及 び 手 数 料	496,783,000	501,089,615	500,194,315
15 国 庫 支 出 金	13,767,715,794	12,730,487,411	12,730,487,411
16 県 支 出 金	4,664,239,000	4,421,469,663	4,421,469,663
17 財 産 収 入	184,032,000	128,785,996	128,220,436
18 寄 附 金	421,313,000	309,196,173	309,196,173
19 繰 入 金	2,153,327,000	2,075,743,334	2,075,743,334
20 繰 越 金	1,578,860,007	1,819,523,498	1,819,523,498
21 諸 収 入	1,777,287,699	2,131,587,133	1,743,274,101
22 市 債	2,761,800,000	1,938,900,000	1,938,900,000
合 計	61,584,317,500	60,859,553,833	D 59,666,869,299

単位：円

不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 割 合		収入済額構成比 C / D
		対予算現額 C / A	対調定額 C / B	
		%	%	%
88,203,893	707,569,212	100.8	96.6	38.2
0	0	102.7	100.0	0.6
0	0	89.1	100.0	0.0
0	0	92.5	100.0	0.3
0	0	144.1	100.0	0.3
0	0	155.3	100.0	0.6
0	0	95.6	100.0	6.1
0	0	111.1	100.0	0.2
0	0	130.3	100.0	0.2
0	0	104.4	100.0	0.3
0	0	99.9	100.0	9.7
0	0	85.8	100.0	0.0
100,632	7,036,905	97.7	98.0	0.6
0	895,300	100.7	99.8	0.8
0	0	92.5	100.0	21.3
0	0	94.8	100.0	7.4
0	565,560	69.7	99.6	0.2
0	0	73.4	100.0	0.5
0	0	96.4	100.0	3.5
0	0	115.2	100.0	3.1
17,164,080	371,148,952	98.1	81.8	2.9
0	0	70.2	100.0	3.2
105,468,605	1,087,215,929	96.9	98.0	100.0

3 款別歳出決算状況

款	予 算 現 額 A	支 出 済 額 B
1 議 会 費	324,601,000	316,130,416
2 総 務 費	5,953,478,620	5,386,894,524
3 民 生 費	29,124,916,200	27,630,353,398
4 衛 生 費	5,404,081,237	4,847,530,434
5 農 林 費	704,191,000	641,218,550
6 商 工 費	1,287,827,000	1,190,135,367
7 土 木 費	6,895,911,000	5,851,582,192
8 消 防 費	2,570,332,613	2,474,811,787
9 教 育 費	4,957,517,780	4,481,563,075
10 公 債 費	4,286,484,000	4,274,616,050
11 予 備 費	74,977,050	
合 計	61,584,317,500	C 57,094,835,793

単位：円

翌年度繰越額	不 用 額	支 出 割 合 B / A	支出済額構成比 B / C
		%	%
0	8,470,584	97.4	0.6
10,080,000	556,504,096	90.5	9.4
432,422,516	1,062,140,286	94.9	48.4
3,804,000	552,746,803	89.7	8.5
0	62,972,450	91.1	1.1
3,905,000	93,786,633	92.4	2.1
300,624,600	743,704,208	84.9	10.2
0	95,520,826	96.3	4.3
39,894,000	436,060,705	90.4	7.9
0	11,867,950	99.7	7.5
	74,977,050		
790,730,116	3,698,751,591	92.7	100.0

4 主な事業の概要と成果

(1) 議会費

○ 議会活性化の取組

通年会期制により、年間を通じて常任委員会を機動的に開催し、市長への政策提言に向けた協議やテーマの選定等を行った。

引き続き、各常任委員会で設定したテーマをもとに調査・研究を重ね、市政への課題解決に向けた政策提言書を提出する。

○ 市民に開かれた議会への取組

議会の役割と議員活動を分かりやすく伝えるため、参加者が興味を持って楽しく学べるよう、資料を工夫し、小学生と保護者を対象とした夏休み子ども議場見学会を実施した。

また、選挙権引き下げに伴う主権者教育の一環として、若年層の投票率の向上につながるよう、選挙管理委員会と共に高校生を対象とした出前講座を実施した。

引き続き、幅広い年齢層に対し、議会への理解・関心を深める取組を行う。

○ タブレット端末を活用したデジタル化の推進

各種会議における資料（予算・決算書等冊子類を除く。）について、紙での配布を廃止し、タブレット端末で閲覧することとした。

引き続き、タブレット端末を活用し、効果的で迅速な情報共有及びペーパーレス化に向けた取組を推進する。

○ 姉妹都市・友好都市との交流に係る取組

大韓民国京畿道坡州市の公式訪問団が6年ぶりに来秦したことに伴い、議長主催の歓迎会を開催し、坡州市との交流を深めた。

(1) 議員報酬及び手当等

[議事政策課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
204,463,000	204,459,722	国庫		地方債		204,459,722
		県費		その他		

任期満了日（9月10日）までの実数は、21人

ア 議員報酬（定数24人） 122,551,466円

区 分	月 額
議 長	556,000円
副 議 長	484,000円
議 員	444,000円

イ 期末手当 46,669,056円

ウ 共済費 35,239,200円

(2) 議会運営費

[議事政策課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
507,000	334,606	国庫		地方債		334,606
		県費		その他		

通年会期制により、年間を通じて常任委員会を機動的に開催した。

・会議開催状況等（4月1日～令和6年3月31日）

定例会会議 回数	臨時会議 回数	会 議 日 数	本会議 日 数	議 案 等			陳 情 審議件数	本会議 傍聴者数
				市長提案	議員提案	委員会提案		
4回	1回	98日	27日	95件	3件	4件	18件	331人

総務常任委員会	7日	議会運営委員会	24回
文教福祉常任委員会	7日	議会報編集委員会	8日
環境都市常任委員会	7日	議員連絡会	7日
予算決算常任委員会	21日		

(3) 議会調査研究費

[議事政策課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
12,714,000	9,376,551	国庫		地方債		9,376,551
		県費		その他		

他市での先進的な取組等を学び、市政に生かすため、各委員会で所管事務調査を実施したほか、政策提言に向けて常任委員会を開催した。

また、議会の審議機能の強化や活性化を目的とした議員の調査研究活動等に必要な経費の一部として、政務活動費を各会派及び会派に所属しない議員に交付した。

・所管事務調査	2,495,990 円	
総務常任委員会	11 月 8 日～10 日	愛媛県松山市、広島県尾道市 岡山県岡山市
文教福祉常任委員会	11 月 7 日～9 日	大阪府守口市、岐阜県大垣市 愛知県刈谷市
環境都市常任委員会	11 月 6 日～8 日	愛知県半田市、大阪府堺市 静岡県浜松市
議会運営委員会	令和 6 年 1 月 25 日～26 日	香川県高松市、香川県坂出市
・政務活動費の交付	6,880,561 円	

(4) 議長会等経費

[議事政策課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳			
		特定財源			一般財源
1,806,000	1,330,861	国庫		地方債	1,330,861
		県費		その他	

全国市議会議長会等の総会や会議等に参加し、各市議会の議長と情報交換を行うとともに、共通する課題への対応について協議した。

また、大韓民国京畿道坡州市訪問団の来賓に伴い、議長主催の歓迎会を開催した。

・全国市議会議長会等経費	743,354 円
・関東市議会議長会経費	126,654 円
・神奈川県市議会議長会経費	112,152 円
・県央八市議会議長連絡協議会経費	177,188 円
・姉妹・友好都市議会交流経費	171,513 円

(5) 会議録・議会だより発行費

[議事政策課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳			
		特定財源			一般財源
11,326,000	10,389,640	国庫		地方債	10,229,640
		県費		その他	

本会議等の会議録を作成し、会議録検索システムを活用することで、市民等に議会の情報を広く正確に公開した。

また、議会及び市政に対する理解を深めるため、「はだの議会だより」を発行し、議会の活動状況等を市民に周知した。

さらに、改選後の市議会の構成について迅速に周知するため、広報はだの折り込み特集号を発行した。

ア 本会議会議録作成 1,697,630 円

年 4 回開催した定例会議及び 1 回開催した臨時会議の会議録を地方自治法第 123 条に基づき、作成した。

・1 回当たりの印刷部数 10 部

- イ 議会だよりの発行 6,380,646 円
議会の活動状況等を市民に周知するため、年４回（各８ページ）の定例会議ごとに、１回当たり 55,000 部を発行した。
- ・印刷代 4,452,800 円
 - ・新聞折り込み料 1,148,815 円
 - ・ポスティング料 481,008 円
 - ・デジタル版議会だより作成費 44,000 円
 - ・広報はだの折込特集号 254,023 円
- ウ 常任委員会等会議録反訳 629,200 円
- エ 会議録検索システムの運営 1,149,929 円
- オ 会議録作成支援システム経費 225,335 円
- カ 会議録作成支援システム解約料 246,400 円
- キ クロス表紙 60,500 円

(6) 議会映像配信システム運営費

〔議事政策課〕

単位：円

予 算 現 額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳				
		特 定 財 源				一 般 財 源
8,474,000	8,473,264	国庫		地方債		8,473,264
		県費		その他		

議会や市政に対する市民の理解を深めるため、インターネット（スマートフォンやタブレット端末を含む。）を通じて本会議を生中継するとともに、録画映像として公開した。

- ・議会映像配信システム運営・機器保守関連経費 4,444,000 円
- ・議会映像配信・音響設備リース代 4,029,264 円

(7) 議会事務費

〔議事政策課〕

単位：円

予 算 現 額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳			
		特 定 財 源			一 般 財 源
4, 427, 000	3, 760, 942	国庫		地方債	3, 760, 942
		県費		その他	

タブレット端末を活用し、議員間や執行部と効果的かつ迅速な情報の共有を図った。

- ・旅費 1,682 円
- ・議会図書室整備費 382,768 円
- ・一般事務管理費 614,282 円
- ・会派室等管理費 453,420 円
- ・ICT 関連経費 2,308,790 円

(2) 総務費

○ 環境負荷が少ない公用車の導入

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、公用車について、ガソリン車から電気自動車、ハイブリッド車への更新を推進した。

引き続き、計画的に電気自動車等への更新を進めるとともに、カーシェアリングや車両台数の集約を含め、公用車の適正配置の検討を進める。

○ 信頼される市役所改革

障害者就労支援相談員を任用し、障害者雇用の推進を図るとともに、人事評価では、業績に応じた評価を処遇に反映できるよう、制度の見直しを行った。

また、定年引上げに伴い、管理監督職上限年齢制に基づく役職定年など、60歳到達職員の経験を踏まえた適材適所の人事配置を行った。

○ 広報広聴活動の充実

分かりやすく親しみやすい「広報はだの」を編集するとともに、ホームページや公式LINEなど、多様な媒体を活用した情報の発信に努めた。

また、本市が誇る地域資源をつなげるデジタルスタンプラリーや桜をPRするSNS広告の配信を行ったほか、新たに「はだのふるさと大使」1名を任命し、本市の魅力を効果的に発信した。

さらに、広聴活動では、高校生など、若年層を含めた幅広い年代の意見聴取に努めた。

引き続き、広報と広聴が連携した市民との協働のまちづくりにつながる取組や効果的なシティプロモーションを進める。

○ 安心できる消費生活の支援、市民相談の充実

消費生活センターや市民相談に寄せられる多様な相談に適切に対応するとともに、高齢者やその見守りをする方、中学生などを対象とした消費トラブルに関する啓発事業を定期的に実施した。

また、多様化する市民相談に対応し、各種専門相談を開催するなど、引き続き市民の安全と安心の確保に努める。

○ ふるさと寄附金の推進

ふるさと寄附金の増加に取り組むため、タイアップ事業者と連携し、新たな返礼品の発掘を行った。

また、本市の魅力や寄附金の活用事例などを紹介するパンフレットの配布に加え、新聞折り込みやバナー広告等の媒体を活用して返礼品情報を発信するなど、新規寄附者やリピーターの確保に取り組んだ。

引き続き、タイアップ事業者との連携を強化し、本市の魅力を生かした体験型返礼品の充実に努める。

○ 行財政最適化の推進

「はだの行政サービス改革基本方針実行計画」の進捗に対する行財政調査会からの評価及び意見を踏まえ、次年度の取組につなげた。

また、条例を改正し、最適な執行体制に向け、組織の見直しを行った。

引き続き、行財政改革の推進や組織・執行体制の最適化に努める。

○ 公共施設再配置の推進

学校施設の複合化に関する庁内での検討を進めたほか、「秦野市公共施設再配置計画第2期基本計画」及び「前期実行プラン」に沿った取組を推進した。

引き続き、公共施設の効率的な管理運営と、将来を見据えた維持・更新に努める。

○ 交通安全対策の推進

交通事故のない「安全・安心なまちづくり」を目指し、市民一人ひとりの交通安全に関する意識を深めるため、関係機関と協働して交通安全教育や啓発活動を実施した。特に高齢者に対しては、交通安全教室のほか運転適性検査により交通安全意識の向上を図った。

また、通学路の安全対策として、運転者等に注意喚起を促す看板等を設置し、児童生徒の安全確保に努めた。

引き続き、関係機関と協働し、交通事故の未然防止に努める。

○ ICT活用の推進

市民や事業者等が来庁することなく、いつでも、どこでも必要な手続や情報の入手が行える「スマート自治体」を目指し、スマートフォンやパソコン等によるオンライン申請の拡充を進めたほか、地理情報システムの更新に伴い、インターネットで公開する地図情報の拡充や、窓口対応の端末を設置するなどの環境整備を進めた。

また、住民票等の各種証明書の発行に際し、個々のニーズに応じた支払方法を選択できるよう、キャッシュレス決済レジを導入した。

引き続き、「はだのICT活用推進計画」に基づく各種デジタル化の取組を推進し、市民の利便性向上や職員の業務効率化を図る。

○ 防犯対策の充実

犯罪の未然防止や市民の防犯意識を高めるため、防犯活動団体及び警察と連携し、防犯啓発活動を実施した。

幹線道路や主要交差点、駅周辺や市街地など不特定多数の人が往来する公共の場所に設置した135か所の防犯カメラについて、適切な維持管理を行うとともに、警察と協議のうえ、5か所に新たな防犯カメラを設置した。

○ 地域まちづくりの推進

「市民によるまちづくり事業交付金」を拡充し、新たにまちづくり拠点の通信費を補助対象とした。

また、市内8地区に配置する「地域まちづくりコーディネーター」と各地区まちづくり委員会が連携し、地域コミュニティ活動に取り組むことで、多様な地域団体の協働によるまちづくりを推進した。

引き続き、地域の特性を生かした魅力あるまちづくり事業を推進するとともに、自治会の持続的な運営のため、加入促進を含めた支援の充実に努める。

○ 犯罪被害者等への支援の取組

犯罪被害者等支援条例に基づき、県警と連携しながら、支援金支給や相談業務を適切に行った。

また、犯罪被害者等支援について、市民の理解を深めるため、市民講演会や啓発活動を実施した。

引き続き、誰もが安心して暮らすことができる地域社会を目指し、犯罪被害者等への総合的な支援体制の充実に努める。

○ 人権を尊重し多様性を認め合う社会づくりの推進

性的少数者や事実婚の方々が自分らしく生きることができるよう、支援するため、「秦野市パートナーシップ宣誓制度」を開始するとともに、制度の周知に努めた。

引き続き、多様な性に関する理解の促進を図る。

○ クアーズテック秦野カルチャーホールの維持管理

導入2年目となる指定管理者制度のもと、民間の技術や知識を生かした施設の維持管理や質の高い文化芸術に触れる機会の提供に努めた。

また、利用者が安全・安心に施設を利用できるよう、特定天井の改修に向けた実施設計を行った。

引き続き、特定天井等改修工事による休館中においても、学校や他の公共施設などに出向いて公演やワークショップを行うアウトリーチ事業等に積極的に取り組み、市民が質の高い文化芸術に触れる機会の提供に努める。

○ スポーツ・レクリエーションの推進

本市では初めての開催となる「全国女子中学生硬式野球選手権大会」や、4年ぶりに5kmの部及びまめっこの部を実施し、通常開催となった「はだの丹沢水無川マラソン大会」では、全国から参加した多くの選手に本市の魅力に触れていただくとともに、市民のスポーツ環境の醸成を図った。

また、日常的なスポーツの習慣化や健康増進に向けた取組を行い、チャレンジデーにおいては、参加団体の中で前回と比較して、最も参加率を高めることができた。

さらに、学校体育施設の開放に当たっては、施設予約システムを導入するとともに、一部の学校で電子錠の試行導入を行い、利用者の利便性の向上及び学校の負担軽減を図った。

引き続き、スポーツの持つ力を最大限活用する取組を進めていく。

○ スポーツ施設の整備及び適切な維持管理

市民が安全・安心に利用できるよう、多目的グラウンドであるスポーツ広場について、中長期的な整備指針である「秦野市スポーツ広場等整備指針」を策定するとともに、テクノスポーツ広場トイレ改修工事等を行い、計画的な維持管理に取り組んだ。

引き続き、スポーツ施設の計画的な修繕・更新を行い、利用者の安全確保と利便性の向上を図る。

○ 平和推進事業の充実

平和への願いを未来に向けて継承するため、「秦野市平和の日」の趣旨を広める「はだの平和の日のつどい」及び「ピースキャンドルナイト」を実施した。

また、親子ひろしま訪問団が広島市から譲り受けた「被爆アオギリ二世」の苗木を、訪問団員の在籍校5校に植樹した。

引き続き、幅広い世代の平和意識の向上に努める。

○ マイナンバーカードの交付促進

「出張申請おたすけ隊」として保健福祉センターやクアーズテック秦野カルチャーホールなど、地域に出向き、申請手をサポートした。

また、平日夜間や休日の臨時窓口を開設し、申請・取得しやすい環境を整備した。

引き続き、マイナンバーカードの安全性や利便性を周知しながら、交付促進に努める。

○ 戸籍情報のネットワーク化

最寄りの市区町村窓口で遠隔地の戸籍を取得できる戸籍謄本等の広域交付や、全国の自治体間における戸籍事務内連携等に対応するための戸籍システムの構築に努めた。

○ 選挙の適正な管理執行等

任期満了に伴う県知事及び県議会議員選挙並びに市議会議員選挙を適正に執行した。

引き続き、若年層の投票率の向上に向け、高校生を対象とした出前講座や、秦野市明るい選挙推進協議会の協力による啓発活動等を通じ、有権者の政治意識の高揚に努める。

(1) 表彰関係経費

[秘書課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳					
		特定財源				一般財源	
986,000	790,271	国庫		地方債		790,271	
		県費		その他			

本市の発展に尽力された方々の功績に対して感謝の意を表すため、表彰した。

ア 市功労者等表彰式 11月3日 メタックス体育館はだの 第1武道場

・表彰の状況

市民功労表彰	自治功労表彰
3人・1団体	4人

・特別感謝状贈呈の状況

役職関係
2人

・感謝状贈呈の状況

役職関係	ボランティア	寄附	計
40人	1人・2団体	1人・10団体	42人・12団体

イ 表彰者審査委員会 委員数12人 1回開催

(2) 車両集中管理費

[財産管理課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳					
		特定財源				一般財源	
51,596,000	46,684,450	国庫	122,000	地方債		45,450,250	
		県費	60,000	その他	1,052,200		

公用車の効率かつ適切な運行管理を行った。

ア 更新車両のリース化を進めるとともに、車検整備・法定点検・保険契約等の公用車の運行管理を行った。

・燃料費	10,023,339円
・修繕料（公用車車検・点検、修理）	7,195,977円
・役務費（自賠責保険等）	3,341,668円
・使用料及び賃借料（車両リース等）	18,407,855円
・公課費（重量税）	583,300円
・車両購入（電気自動車）	2,432,733円
・その他（運転手報酬等）	4,699,578円

イ 給油量内訳

レギュラーガソリン	ハイオクガソリン	軽油
48,570.64ℓ	3,684.00ℓ	5,522.18ℓ

ウ 共通管理車両の内訳（ ）内はリース台数

単位：台

車種	普通乗用車	普通貨物自動車	小型乗用車	小型貨物自動車	軽自動車	原動機付自転車	普通特種自動車	計
台数	9 (7)	1 (1)	5 (1)	13 (7)	106 (55)	12	4	150 (71)

エ 公用車両交通事故発生件数 13件

(3) 電子入札システム共同運営事業費

[契約検査課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
7,105,000	5,430,000	国庫		地方債		4,608,000
		県費		その他	822,000	

神奈川県及び県内市町村等が共同運営する電子入札システムを活用し、事業者の利便性の向上を図り、公平、公正で透明性の高い入札を執行した。

・電子入札実績

発注区分	件数	うち市内発注件数※
工事	174	144
コンサルタント	35	9
一般委託	180	55
物品	124	21
計	513	229

※市内発注件数は、所在地要件を「市内本店」として発注した件数

(4) 公務災害補償等経費

[人事課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
184,000	45,000	国庫		地方債		45,000
		県費		その他		

「秦野市職員の公務災害等に対する見舞金支給要綱」に基づき、公務中の事故等により負傷した職員に対し、見舞金を支給した。

・支給者 療養見舞金 2人 45,000円

(5) 職員研修費

[人事課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
10,187,000	7,214,257	国庫		地方債		6,919,669
		県費		その他	294,588	

職務遂行上の基本的知識の習得や職員の意欲を高める様々な職員研修を実施した。具体的な内容として、市政運営を推進するに当たって求められる役割を改めて認識するため、新任管理監督者を対象としたマネジメント研修や、持続可能な行政に求められる職員を育成する「次世代育成アカデミー」、また、専門知識や技術を習得する自治大学校や国土交通大学校などへの派遣研修等を実施した。

研修区分	講座数(件)	受講者数(人)
階層別研修・次世代育成アカデミー等	21	451
専門研修(庁内研修)	12	762
専門研修(派遣研修)	156	174
自己啓発(通信教育等)	15	20
計	204	1,407

(6) 職員健康管理経費

[人事課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
16,727,000	14,936,290	国庫	7,000	地方債		14,927,290
		県費	2,000	その他		

「労働安全衛生法」、「秦野市職員安全衛生管理規則」等に基づき、職員の健康の保持増進を図るため、各種健康診断等を実施した。

事業名	内 容	受診等人数(人)
定期健康診断	胸部 X 線、血液検査等	596
特別健康診断	こども園職員健康診断	81
	情報機器作業従事職員健康診断	67
	専門職健康診断	75
がん検診	胃 部 X 線	28
	大 腸 検 査	32
予防接種	B 型 肝 炎 予 防 接 種	8
	破 傷 風 予 防 接 種	57
相 談 等	健 康 相 談 等	8
	メ ン タ ル ヘ ル ス 相 談	15
そ の 他	ス ト レ ス チ ェ ッ ク	1,350
計(延べ人数)		2,317

(7) 情報公開・個人情報保護審査会運営費

[文書法制課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
215,000	47,800	国庫		地方債		47,800
		県費		その他		

「秦野市情報公開条例」及び「秦野市個人情報の保護に関する法律施行条例」に基づいて設置する秦野市情報公開・個人情報保護審査会を開催した。

ア 委員数 7人 任期2年

イ 開催回数 1回

ウ 議題

- (ア) 学校警察連携制度の実施状況について
- (イ) 特定個人情報保護評価書について
- (ウ) 情報公開請求・個人情報開示請求の運用状況について
- (エ) 個人情報取扱事務の登録等について
- (オ) 個人情報ファイル簿について

(カ) 保有個人情報の利用及び提供の制限に係る例外的取扱いについて

・行政情報の公開に係る実施機関別利用状況

実施機関名	公開請求(件)
市長	127
消防長	11
教育委員会	17
選挙管理委員会	4
議会	1
計	160

・公開請求の処理内訳

処理区分	件数(件)
全部公開	116
一部公開	31
非公開	3
不存在	7
取下げ	3
計	160

・個人情報の開示に係る実施機関別利用状況

実施機関名	開示請求(件)
市長	30
消防長	2
計	32

・開示請求の処理内訳

処理区分	件数(件)
全部開示	14
一部開示	13
不存在	4
取下げ	1
計	32

(8) 浄書印刷経費

[文書法制課]

単位：円

予 算 現 額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳			
		特 定 財 源			一 般 財 源
34,954,000	33,891,981	国庫		地方債	33,891,981
		県費		その他	

庁内印刷に係る経費の一元管理により、予算執行の効率化を図るとともに、庁内印刷の利用を促進し、印刷経費の縮減に努めた。

- ・浄書印刷依頼件数 5,552 件
- ・印刷枚数（地下印刷室） 6,080,982 枚
- ・乾式複写機使用経費（文書法制課予算分） 2,057,874 円

(9) 保存文書管理費

[文書法制課]

単位：円

予 算 現 額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳				一 般 財 源
		特 定 財 源				
1, 633, 000	1, 488, 866	国庫		地方債		1, 240, 126
		県費		その他	248, 740	

保存文書の電子データ化により、文書検索の効率化を図るとともに、保存年限の経過した廃棄文書のリサイクルに努めた。

- ア 電子データ作成委託業務 305,750 円
5,029 コマ（対象文書）条例原議、規則原議、訓令原議、政策会議書類
- イ 廃棄文書リサイクル処理委託業務 146,520 円
・リサイクル処理数量 4,440 kg

(10) 市民相談事業費

[市民相談人権課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
12,402,000	11,785,371	国庫	1,325,027	地方債		10,400,344
		県費	60,000	その他		

市民が抱える様々な問題の解決に向けた支援をするため、各種の専門相談を実施した。

ア 相談事業の内訳

区 分	件数	相 談 の 内 容
市民生活相談	642	近隣関係のトラブルなど
行政相談	28	国・県等への苦情・要望など
法律相談	413	相続、賃貸借、離婚、契約などの法律上の問題
司法書士相談	17	債務など
	105	登記・相続など
行政書士相談	59	成年後見、遺言など
税理士相談	70	相続税、贈与税、所得税など
年金・社会保険相談	18	年金、社会保険、労働災害など
不動産相談	25	不動産の取引など
マンション管理相談	5	管理組合の運営、規約、修繕、積立など
外国籍市民相談	779	申請・届出、教育、保険、日常生活など 〔対応言語：ポルトガル語（火）、スペイン語・英語（水・木）、中国語・ベトナム語（金・午前）〕

イ 市民生活専門相談員

専門相談員（警察官 0B）2 人の配置により、近隣トラブルなどの様々な市民生活上の問題解決に向けて対処し、市民の安全安心を確保した。

・活動内容

市内巡回パトロール（小・中学校を含む。）、市民生活相談、学校問題に関する相談、秦野警察署との連携、来庁者及び職員に対する第三者からの危害防止など

(11) 「広報はだの」等発行事業費

[広報広聴課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
29,237,000	27,911,087	国庫		地方債		23,079,667
		県費		その他	4,831,420	

市政情報や課題を市民と共有しながら協働によるまちづくりを推進するため、「広報はだの」を発行した。

ア 広報はだの

(ア) 発行回数

毎月 1 日と 15 日の 2 回、年間 23 回発行（1 月 15 日号は休刊。声の広報、点字広報も同じ。）

(イ) 発行部数 56,000 部/回

イ HADANO カレンダー2024 の作成

(ア) 作成費 1,095,600 円

(イ) 発行部数 4,000 部

(12) 広報宣伝費

[広報広聴課]

単位：円

予 算 現 額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳				一 般 財 源
		特 定 財 源				
21,301,000	20,496,054	国庫		地方債		19,758,602
		県費		その他	737,452	

行政やイベント、本市が誇る地域資源などの情報を、新聞、ラジオ、ホームページ等を活用し、市内外に発信することで、本市の魅力をPRした。

ア メディアを活用した広報宣伝

(ア) 新聞、地域情報誌への広告掲載

(イ) ラジオ広報 FMヨコハマ「エリアナビ秦野市」 毎月第1・3木曜日放送

(ウ) 地域情報サイトによる地域資源の魅力発信、イベント等の周知

(エ) 地域資源をつなげるデジタルスタンプラリーの開催による誘客促進

(オ) SNS「Instagram」を活用した写真・動画コンテストの開催による魅力発信

イ ホームページ等による情報発信

ホームページや市公式LINEなどのSNSを活用し、双方向で広がりのある情報発信力を生かした取組を推進した。

ウ データ放送、デジタルサイネージの活用

tvkのデータ放送やイオン秦野ショッピングセンター内に設置したデジタルサイネージ「わが街NAVI」で、行政・イベント・安全安心情報などをリアルタイムに発信した。

エ はだのふるさと大使の活用

吉田栄作氏など6人の大使を活用し、本市を効果的にPRすることで、本市の知名度の向上と市民の郷土愛の醸成に努めた。

(13) 消費生活行政事業費

[市民相談人権課]

単位：円

予 算 現 額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳				一 般 財 源
		特 定 財 源				
8,711,000	8,055,316	国庫		地方債		6,856,159
		県費	1,199,157	その他		

多様化する消費者問題における相談及び苦情に適切かつ効果的に対処するとともに、消費者が自ら適切な消費行動をとることができるよう、消費生活情報の提供等を行い、消費生活の向上に努めた。

また、エシカル消費（倫理的消費）を周知するため、地域情報紙により広報した。

ア 消費生活相談 1,119件

イ 消費生活講座「高齢者等の見守り者を対象とした講座」7回 参加者数 113人

ウ 消費者啓発キャンペーン「消費者月間」1回

エ 「家庭用品品質表示法」及び「消費生活用製品安全法」に基づく立入調査 1回、2店舗

オ 消費生活に関する情報提供

- ・消費者月間においてパネル展示や啓発用パンフレットを配布
- ・成年年齢の引下げに関するパンフレットを配布

(14) 広聴事業費

[広報広聴課・市民活動支援課・生涯学習課・産業振興課]

単位：円

予 算 現 額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳				一 般 財 源
		特 定 財 源				
950, 000	850, 456	国庫		地方債		850, 456
		県費		その他		

広く市民の声を市政に反映させるため、わたしの提案、地区別市政懇談会、各層別懇談会（自治会連合会、婦人会、西湘地域連合（労働団体））、各種アンケート調査を実施した。

・地区別市政懇談会 8 地区

(15) 普通財産管理費

[財産管理課]

単位：円

予 算 現 額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳			
		特 定 財 源			一 般 財 源
9,699,500	6,915,093	国庫		地方債	6,915,093
		県費		その他	

普通財産である市有地及び建物の適切な維持管理を実施した。

また、低・未利用地について、賃貸や売却などによる活用を図り、自主財源の確保に努めた結果、令和5年度は、未利用地2件及び貸付地1件の売却で62,564,552円、土地・建物の貸付で30,019,161円の収入を得た。

- ・市有地草刈委託業務 2,118,765 円
- ・市有地樹木伐採委託業務 192,500 円
- ・測量等委託業務 1,078,000 円
- ・不動産鑑定業務 2,270,400 円
- ・普通財産修繕業務 434,500 円
- ・その他普通財産管理費 820,928 円

(16) 庁舎維持管理費

[財産管理課]

単位：円

予 算 現 額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳				
		特 定 財 源			一 般 財 源	
373,889,500	304,244,964	国庫		地方債	23,500,000	277,741,964
		県費		その他	3,003,000	

市民の共有財産である庁舎の維持、保全に努め、老朽化対策を実施した。

また、本庁舎の老朽化対策として外壁等改修工事を実施するとともに、西庁舎の照明設備の更新工事を実施した。

- ・光熱水費 34,385,823 円
- ・修繕料 13,453,968 円
- ・電話使用料 12,925,176 円
- ・総合管理、保守点検等委託業務 92,995,760 円
- ・公共下水道使用料 3,578,999 円
- ・教育庁舎リース料 8,386,285 円

- ・登退庁設備リース料 2,750,880 円
- ・西庁舎照明設備更新工事ほか2件 121,595,100 円
- ・その他の庁舎管理費 14,172,973 円

(17) ふるさと寄附金推進事業費

[財産管理課]

単位：円

予算現額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳				一般財源
		特定財源				
207,653,000	142,603,393	国庫		地方債		142,603,393
		県費		その他		

本市を支援していただいた方に感謝の意を表すため、特産品を贈呈した。

また、本市の紹介や寄附金の活用事例を掲載したパンフレットの配布のほか、新聞折り込みや経済雑誌、地域情報サイトへの掲載などの情報発信により、寄附額の増加に努めた。

- ・特産品等贈呈（品数：9,206 個 金額：83,197,390 円）
- ・寄附実績

寄附件数	寄附額
7,985 件	284,282,101 円

(18) 行財政最適化推進経費

[行政経営課]

単位：円

予 算 現 額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳			
		特 定 財 源			一 般 財 源
587, 000	384, 254	国庫		地方債	384, 254
		県費		その他	

持続可能な行財政運営の実現に向けて、「はだの行政サービス改革基本方針」に基づく取組の推進や最適な組織・執行体制の構築等に努めた。

ア 行財政調査会の開催 5回開催 委員10人で構成

「はだの行政サービス改革基本方針実行計画」及び「第2期秦野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（総合計画前期基本計画リーディングプロジェクト）」の進行等について評価及び意見を受け、次年度以降の取組につなげた。

イ 職員定員管理

「秦野市職員定員最適化計画」に基づき、職員定員の最適化に努めた。

ウ 職員提案

職員の事務改善意欲を高めるとともに、事務の合理化及び財務負担の軽減を図るため、一人1提案を目標として市民サービスの向上や業務改善につながる事例報告や提案を募集し、優秀な報告等をした職員を褒賞した。

- ・提案推進期間 9月1日～9月28日
- ・応募件数 368 件（改善報告 93 件、アイデア提案 275 件）
- ・褒賞件数

改善報告	最優秀賞 1 件、優秀賞 2 件、奨励賞 5 件
アイデア提案	最優秀賞 1 件、優秀賞 2 件、奨励賞 4 件

(19) 公共施設再配置推進事業費

[行政経営課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
251,000	204,391	国庫		地方債		204,391
		県費		その他		

将来にわたり必要性の高い公共施設サービスを将来の市民にも良好な状態で引き継いでいくため、「秦野市公共施設再配置計画第2期基本計画」及び「前期実行プラン」に沿った取組を推進するとともに、市民サービスの向上と公共施設の効率的な管理運営に向け、指定管理者による連絡会議を実施した。

また、学校施設や公民館などの複合化に関する庁内での検討を進めた。

(20) 企画事務費

[総合政策課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
10,669,000	9,731,486	国庫	825,000	地方債		8,670,886
		県費		その他	235,600	

市政の総合的な企画・調整、国・県の事業との調整、大学提携及び広域行政の推進を図った。

ア 企画事務

総合計画はだの2030プラン前期基本計画の進行管理を行うとともに、同計画が令和7年度末で計画年限を迎えることから、後期基本計画の策定に向け、市民意識の把握や社会経済動向などの基礎調査を実施した。

また、土地利用の総合調整、神奈川県や関係諸機関との連絡調整、重要施策実現のための要望活動、大学提携事業、企業との包括連携協定等に関する事務を行った。

イ 広域行政

近隣市町村と共に設置している各協議会において、広域的な視点から情報交換を行うとともに、公共施設の相互利用、広域的な行政課題の検討及び圏域の魅力発信等に取り組んだ。

ウ 市制施行70周年記念事業

市民の意見を踏まえた記念事業の検討を進めるため、市内在住・在勤・在学の方を対象とした市民ワークショップや、市民、学識経験者、関係団体からの推薦者で構成する市民企画会議を開催するとともに、記念事業のテーマ及びロゴマークを決定し、機運醸成を図った。

エ 結婚支援事業

総合計画に掲げた「結婚・妊娠・出産・育児までの切れ目のない支援の充実」のうち、「結婚」を希望して自ら行動する市民を支援するため、AIを活用した「婚活」に関するセミナーのほか、バスツアー及びパーティーを開催した。 1,399,200円

・開催実績

開催内容	開催日時	対象・参加者数
AI婚活セミナー ・バスツアー	11月26日 9時～16時15分	対象：20人(男女各10人(市内外各5人)) 参加者数：女性8人(市内3人・市外5人) 男性7人(市内1人・市外6人)
AI診断 ・パーティー	令和6年2月4日 12時30分～16時30分	対象：30人(男女各15人(市内)) 参加者数：女性5人、男性6人

(21) 交通安全思想啓発指導費

[地域安全課]

単位：円

予 算 現 額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳				一 般 財 源
		特 定 財 源				
6,606,000	6,077,824	国庫		地方債		6,077,824
		県費		その他		

交通事故の未然防止のため、幼児から高齢者まで幅広い層に対し交通安全教育や啓発活動を実施した。

また、運転に不安のある高齢者に対して、県警察と連携し、運転適性検査を実施した。

ア 講習会等の実施

区 分	実施回数	延べ参加者数
交通安全教室・講習会	114回	9,061人

イ 交通安全功労者及び功労団体の表彰

- ・11月18日 クアーズテック秦野カルチャーホール 小ホール
- ・功労者 10人 自治会交通対策部長 9人

ウ 交通安全ポスターの募集・掲示

市内の小・中学校の児童生徒から募集した交通安全ポスターの最優秀作品を印刷し、自治会掲示板等へ掲示した。

- ・応募数 265点 入選作品 30点

エ 交通安全指導員の配置

保育所、幼稚園、学校及び地域等において、交通安全教育指導を行った。

オ 高齢者運転適性検査の実施

高齢者に対して運転適性検査を実施し、安全運転のための啓発を行った。

- ・検査実施者 69人

(22) 通学路安全対策事業費

[地域安全課]

単位：円

予 算 現 額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳			
		特 定 財 源			一 般 財 源
409, 000	408, 804	国庫		地方債	
		県費		その他	408, 804

通学路の安全対策として、小・中学校等からの要望に基づき、運転者等に注意を喚起する啓発看板や路面シールを設置した。

ア 啓発看板設置数 新設30枚、更新4枚

イ 路面シール設置数 新設9枚、更新1枚

(23) 自転車等放置防止対策事業費

[地域安全課]

単位：円

予 算 現 額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳				一 般 財 源
		特 定 財 源				
9, 176, 672	8, 093, 937	国庫		地方債		7, 558, 242
		県費		その他	535, 695	

市内4駅周辺における自転車や原動機付自転車の違法な路上駐車を防止するため、啓発活動及び撤去作業を行い、道路交通の安全を図った。

ア 撤去等の状況

区 分	自転車 (台)	原動機付自転車 (台)
放置自転車等撤去台数	390	14
放置自転車等返還台数	101	9

※撤去費用 自転車 2,000 円/台 原動機付自転車 4,000 円/台

イ リサイクルの状況

財源確保及び資源循環型社会の推進を目的として、海外での販売を条件とする売却処分を行い、自転車 130 台、原動機付自転車 4 台を売却し、75,900 円の収入を得た。

区 分	自転車 (台)	原動機付自転車 (台)
自転車商協同組合でリサイクル	139	0
売却によるリサイクル	130	4

(24) 市営自転車駐車場管理費

[地域安全課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
18,144,178	16,966,080	国庫		地方債		
		県費		その他	16,966,080	

秦野駅周辺の良好な生活環境の維持及び自転車の放置防止を図るため、秦野駅北口自転車駐車場等の適切な管理運営に努めた。

ア 管理委託料

市営自転車駐車場（秦野駅北口・臨時） 7,369,800 円

イ 利用状況

(ア) ロッカー利用料 47,400 円 (300 円×158 回)

(イ) 秦野駅北口 15,527,175 円

常時預り	(1,700 円/月)		還付分		計
	延べ台数(台)	金額 (円)	月数 (月)	金額 (円)	金額 (円)
	5,727.5	9,736,750	27.75	47,175	9,689,575
随時預り	(100 円/回)		還付分		計
	延べ台数(台)	金額 (円)	台数 (台)	金額 (円)	金額 (円)
	58,376	5,837,600			5,837,600

(ウ) 臨時 1,613,300 円

常時預り (1,300 円/月)		還付分		計
延べ台数(台)	金額 (円)	月数 (月)	金額 (円)	金額 (円)
1,247.25	1,621,425	6.25	8,125	1,613,300

(25) 情報化推進事業費

[デジタル推進課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
5,698,000	5,032,674	国庫		地方債		5,032,674
		県費		その他		

市民サービスの向上と職員の事務作業の効率化を図るため、情報通信技術（ICT）の積極的な活用により、インターネットを利用したオンラインサービスを推進するとともに、情報セキュリティを確保するなど、「はだの ICT 活用推進計画」の実行に努めた。

ア インターネットを利用したオンラインサービスの推進

神奈川電子自治体共同運営サービスが提供する電子申請・届出サービス（延べ 289 手続）及び公共施設利用予約システム（52 施設）を活用することにより、市民サービスの向上に努めた。

なお、公共施設利用予約システムについては、新たに宮永岳彦記念美術館の市民ギャラリー及び小・中学校のグラウンド、体育館等の学校開放施設を追加し、貸出予約を開始した。これにより、利用者の利便性の向上のほか、職員や教職員の事務の負担軽減を図った。

イ 情報セキュリティの確保

本市が保有する情報資産を適正に管理及び運用するため、情報セキュリティに関する内部監査及び全職員を対象とした情報セキュリティ研修を実施した。

(26) 電算システム業務費

〔デジタル推進課〕

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
719,258,000	704,280,640	国庫		地方債		617,917,640
		県費		その他	86,363,000	

情報システムの安定稼働と情報セキュリティの確保のため、各種システムの運用管理を実施するとともに、AI や RPA 等を活用した業務支援を実施した。

ア 情報システム、ネットワークの運用

事務処理の効率化と市民サービスの向上を図るため、情報システムの安定稼働と情報セキュリティを確保しつつ、基幹系システム及び個別オープンシステムについて、大量データの一括処理による業務の支援及び運用管理を実施した。

また、本庁舎（東・西・教育庁舎を含む。）と 78 施設を結ぶ庁内ネットワーク及び本庁舎内の主要会議室等に整備した庁内用無線 LAN を安定的に稼働させるとともに、パソコン 1,724 台、プリンタ 123 台など、情報機器の運用管理を実施した。

イ 地理情報システムの最適化

地理情報システム全体の最適化を行い、公開する地図情報の大幅な拡充を図ったほか、道路や建築関連の窓口に、保有する地図情報を表示する端末を設置し、窓口対応のデジタル化を推進した。

ウ キャッシュレス決済の導入

本庁舎の住民票や税証明等の発行窓口に、クレジットカードや各種電子マネーでの支払が可能なキャッシュレス決済セルフレジを導入し、利便性の向上を図った。

(27) 地域安全運動推進費補助金

〔地域安全課〕

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
34,322,000	30,094,945	国庫		地方債		30,059,945
		県費	35,000	その他		

市民の防犯意識の高揚と各種犯罪を未然に防止することを目的として、防犯啓発のための各種地域安全運動や地域住民による防犯パトロールなど、市民総ぐるみの防犯活動を推進する取組を支援することにより、安全で安心なまちづくりに取り組んだ。

ア 地域安全運動

・春の地域安全運動

4月16日 丹沢まつり西中学校会場にて防犯啓発キャンペーンを実施

・秋の地域安全運動

9月23日 たばこ祭オープニングパレードと合わせて交通安全防犯パレードを実施

11月3日 市民の日会場にて防犯啓発キャンペーンを実施

・年末年始特別警戒

12月20日 イオン秦野ショッピングセンターにて防犯啓発キャンペーンを実施

イ 防犯カメラの設置による犯罪抑止

市内4駅の連絡通路、商店街及び街頭などに設置した140か所237台の防犯カメラを適切に管理するとともに、警察などの捜査機関に対してカメラの映像を提供するなど、捜査協力を行った。

ウ 防犯ポスターの募集・掲示

市内の小・中学生から募集した防犯ポスターの最優秀作品を印刷し、自治会掲示板等へ掲示した。 応募数96点 入選作品24点

エ 防犯功労者の表彰（11月18日 クアーズテック秦野カルチャーホール 小ホール）

・防犯功労団体 1団体 ・地域防犯連絡員 6人

・防犯対策部長 11人

(28) 防犯灯設置管理費補助金

[地域安全課]

単位：円

予 算 現 額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳				
		特 定 財 源			一 般 財 源	
66,647,000	56,247,605	国庫		地方債		56,247,605
		県費		その他		

秦野市防犯協会が設置する防犯灯の設置費や同協会が管理する防犯灯の電気料金等に対し、補助した。

ア 防犯灯の設置

・新設 54灯

・防犯灯総数（令和6年3月末日現在） 13,801灯

イ 防犯灯の電気料金等

平成27年4月から防犯灯の全灯をLED化し、長寿命化を図ることで、経費の節減と単位自治会が行う防犯灯見回りの負担を軽減した。

また、デジタルマッピングシステムの導入により、維持管理業務の合理化を図った。

・防犯灯の電気料金 23,472,117円

・防犯灯のエスコ事業費 32,373,936円

(29) 防犯対策事業費

[地域安全課]

単位：円

予 算 現 額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳				
		特 定 財 源				一 般 財 源
6,456,000	6,270,675	国庫		地方債		6,270,675
		県費		その他		

市民の防犯意識の高揚と各種犯罪を未然に防止するため、地域防犯専門員が青色回転灯装備車両（青パト）を活用したパトロールを実施するなど、防犯関係団体等と協働し、防犯活動を推進するとともに、防犯環境づくりに努めた。

(30) 彫刻のあるまちづくり推進事業費

[文化振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳			
		特定財源			一般財源
773,000	697,930	国庫		地方債	574,400
		県費		その他	
				123,530	

野外彫刻を良好な状態に維持するとともに、彫刻のあるまちづくり事業への市民理解を深めるための事業を実施した。

ア 野外彫刻の維持管理

市民参加の「彫刻愛し隊」による日常清掃や巡回点検を実施するとともに、野外彫刻「重力の無い風景」の修繕を実施した。

イ 野外彫刻アートウォーキング

・開催状況

開催日	行程	参加者数
5月31日	渋沢駅（改札前集合）～はだの歴史博物館～カルチャーパーク～水無川緑地～秦野市役所～秦野駅	14人
令和6年2月20日	鶴巻温泉駅北口集合～極楽寺～NITTAN パークおおね～大ケヤキ～延命地藏～宮永岳彦記念美術館	18人

ウ 彫刻に触る体験ツアー！！

・開催状況

開催日	内容	参加者数
8月5日	東海大学構内に設置してある銅像をメンテナンス	34人
令和6年3月2日	図書館前設置の彫刻3基をメンテナンス	11人

エ 野外彫刻スケッチ&ぬり絵展

・開催状況

開催日	内容	出品数	延べ来場者数
令和6年3月27日 ～31日	渋沢駅の野外彫刻4基をモチーフとしたスケッチ作品及びぬり絵作品を展示	172点	351人

(31) 文化祭開催経費

[文化振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳			
		特定財源			一般財源
636,000	620,000	国庫		地方債	620,000
		県費		その他	

文化芸術に携わる市民の発表及び展示を通して、文化の振興を図った。

・開催状況

名 称	種目数	開催期間	延べ来場者数
第68回文化祭	14種目	9月10日～12月3日	3,077人

(32) 市展、子どもの市展開催経費

[文化振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
885,000	836,970	国庫		地方債		836,970
		県費		その他		

市民の文化芸術活動の向上と将来の担い手を育成するため、書道・美術・写真作品を公募し、日頃の活動の成果を発表する場として「市展」及び「子どもの市展」を開催した。

・開催状況

名 称	部門	出品数(点)	会 期	延べ来場者数(人)	
第 53 回秦野市展	写真	175	10月25日～10月29日 (5日間)	549	2, 562
	書道	85	11月 1日～11月 5日 (5日間)	1, 257	
	美術	102	11月15日～11月19日 (5日間)	756	
第 41 回子どもの市展	書道	373	9月28日～10月1日 (4日間)	1, 173	
	報徳	305			
	美術	132			
	写真	55			
	震生湖誕生 100 年				
	記念賞	53			

(33) クアーズテック秦野カルチャーホール(文化会館)管理運営費

[文化振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
262,838,739	244,713,296	国庫	10,629,000	地方債	19,100,000	185,557,486
		県費		その他	29,426,810	

民間活力を利用して、サービスの向上と経費の節減を図るとともに、効率的かつ効果的な運営を行うため、指定管理者による管理運営を実施するとともに、市民ニーズを踏まえた指定管理者の自主事業により、多くの市民が質の高い文化芸術に触れられる機会を提供した。

ア 施設の概要(建築面積5,415.21㎡)

大ホール、小ホール、展示室、会議室(3室)、和室、練習室(3室)

イ 事業費の内訳

- ・報酬 40,000 円
- ・旅費 5,839 円
- ・需用費 114,900 円
- ・役務費 163,642 円
- ・委託料 230,587,655 円(うち指定管理料166,963,655円)
- ・工事請負費 11,953,260 円
- ・備品購入費 1,848,000 円

ウ クアーズテック秦野カルチャーホール施設別利用状況（利用可能日数は294日）

区 分	利用日数 (日)	利用率 (%)	利用状況	利用件数 (件)	延べ利用人員 (人)
大ホール	137	46.6	317回	171	36,935
小ホール	157	53.4	328回	169	20,803
展示室	168	57.1	414回	171	18,876
小 計	462	52.4	1,059回	511	76,614
第1会議室	198	67.3	1,620時間	225	6,434
第2会議室	176	59.9	925時間	209	1,962
第3会議室	54	18.4	371時間	54	347
和 室	177	60.2	951時間	294	3,286
第1練習室	162	55.1	886時間	204	3,514
第2練習室	218	74.1	1,013時間	303	770
第3練習室	119	40.5	714時間	135	1,382
小 計	1,104	53.6	6,480時間	1,424	17,695
合 計	1,566	53.3	1,059回 6,480時間	1,935	94,309

エ 自主事業

大・小ホールで年間34回、観客総動員数は延べ7,677人

主な自主事業

- ・「ゴダイゴライブ2023」
- ・「サタデーフェスティバル」
- ・「第34回丹沢音楽祭 “アルプス交響曲”」

オ 特定天井等改修工事の実施設計

令和6～7年度に予定している特定天井等改修工事に向けた実施設計委託業務を実施した。

特定天井改修等実施設計委託業務 63,228,000円

(34) 宮永岳彦記念美術館管理運営費

[文化振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
18,110,539	16,064,450	国庫		地方債		14,927,950
		県費		その他	1,136,500	

本市にゆかりのある故宮永岳彦画伯の業績を紹介し、市民の創作発表の場を提供するとともに、子ども向けのイベントやギャラリーコンサートなどを展開した。

- ・開館日数 309日
- ・宮永岳彦作品常設展示室 来場者数 延べ2,042人
- ・市民ギャラリー利用団体数 18団体（利用日数 102日・来場者数 延べ4,464人）
- ・自主事業 子ども創作講座（美術館ワクワク探検） 参加者数13人
ギャラリーコンサート 来場者数 90人

(35) はだの浮世絵ギャラリー運営費

〔文化振興課〕

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
1,595,200	1,405,381	国庫		地方債		1,384,821
		県費		その他	20,560	

平成10年に寄贈を受けた約1,900点の浮世絵をより多くの市民が鑑賞できるよう、6回の企画展示やギャラリートークなどを展開した。

- ・開室日数 270日
- ・入室者数 延べ14,276人（1日平均約53人）

(36) 文化振興基金活用事業費

〔文化振興課〕

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
2,321,000	1,120,283	国庫		地方債		226,283
		県費		その他	894,000	

市民の文化芸術活動の推進を図るため、文化振興基金を活用して各種事業を実施する個人や団体に対し、助成金を交付した。

なお、助成対象事業を選定するため、文化振興基金活用懇話会を開催した。

- ・助成先 5団体等
- ・助成額 894,000円
- ・文化振興基金活用懇話会 委員8人 会議開催回数2回

(37) 市民によるまちづくり事業費

〔市民活動支援課〕

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
17,262,000	17,093,960	国庫		地方債		11,933,960
		県費		その他	5,160,000	

住民自治意識の高揚を図るとともに、コミュニティ活動の健全な育成に資するため、市民によるまちづくり事業に対し、助成した。

また、地域まちづくり計画を推進するため、各地区の特性や魅力を生かしたまちづくり事業に対し、助成した。

- ア 市内8地区各まちづくり委員会に対する助成 1,916,000円
 - ・各地区まちづくり委員会の運営活動費等
- イ 一般コミュニティ事業に対する助成 2,500,000円
 - ・西地区（4自治会）
- ウ 財産区が協力する事業を行うまちづくり委員会に対する助成 2,660,000円
 - ・東地区まちづくり運動実施委員会
 - ・北地区まちづくり委員会

- エ 各地区まちづくり委員会の拠点の設置・運営に対する助成 2,016,434 円
 ・本町地区きれいなまちづくり委員会
 ・大根地区新しい街づくり運動推進委員会
 ・鶴巻地区住んでよかったまちづくり協議会
- オ 地域まちづくり計画推進に対する助成 8,000,000 円
 ・各地区まちづくり委員会

(38) 自治会館建設等補助金

[市民活動支援課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳					
		特定財源				一般財源	
20,988,000	18,735,400	国庫		地方債		5,835,400	
		県費		その他	12,900,000		

自治会館の建設等に当たり、地域住民の経費負担の軽減を図るため、経費の一部を補助した。

- ア 借地料 13 件（蔵の前自治会ほか 12 件） 1,587,400 円
 イ 新築 1 件（宿矢名自治会） 14,627,000 円
 ウ 増改築修繕 4 件（東道自治会ほか 3 件） 2,521,000 円

(39) 市民活動支援事業費

[市民活動支援課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳					
		特定財源				一般財源	
2,181,000	1,875,879	国庫		地方債		1,563,879	
		県費		その他	312,000		

市民活動に対する意識の啓発を図るための事業や促進事業に対し、助成した。

- ア 市民活動中の指導者の過失責任や参加者の負傷等に対する補償制度を完備することで、市民活動を推進した。 1,099,880 円
 イ ボランティアの裾野を拡大することを目的として、はだの市民活動団体連絡協議会が行う市民活動促進事業に対し、助成した。 340,000 円

(40) 市民活動サポートセンター維持管理費

[市民活動支援課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳					
		特定財源				一般財源	
5,592,000	5,590,729	国庫		地方債		5,564,329	
		県費		その他	26,400		

市民活動のさらなる活性化及び合理化を図るため、市民活動団体の交流を促進するとともに、その自立を支援した。

- ・会議室等 46.90m²（会議室、交流コーナー、情報コーナー及び作業コーナーを併設）
- ・利用者数 延べ2,136 人

(41) 外国籍市民支援事業費

[文化振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
798,000	793,608	国庫		地方債		493,608
		県費	300,000	その他		

外国籍市民が日常生活を安心して快適に暮らせるよう、支援事業を実施した。

ア 秦野暮らしの日本語教室の開催

外国籍市民が生活を送るうえで、必要な知識や生活言語などを指導した。

定例教室 31回開催（参加者数 延べ585人）

定例外教室 対面：12回開催 オンライン：63回開催（参加者数8人）

イ 地域の国際化の促進

市民の国際意識と外国籍市民に対する理解を深め、地域の国際化を図るため、秦野市国際交流協会と協働して国際交流促進事業を開催した。

(7) 国際理解講座

外国料理教室「韓国料理を作ろう！」

・実施日 7月15日

・内 容 市民にとって身近な「食」を通して国際理解を深めるため、外国料理教室を開催した。

・参加者数 16人

(4) 国際交流フェスティバル

・実施日 令和6年1月28日

・内 容 日本語スピーチ大会、着付け体験コーナー、出身国紹介ブース、交流会等

・参加者数 154人

(7) カナガワビエンナーレ国際児童画展巡回展

世界中の子どもたち、神奈川県内及び全国の外国人学校から届いた絵画を通じて、子どもたちの夢や想像力を育み、お互いの生活や多様な文化を理解することを目的に、国際児童画展巡回展を開催した。

・実施日 令和6年3月22日～31日

・内 容 クアーズテック秦野カルチャーホールの展示室にて、神奈川県主催で公募した絵画の巡回展を開催した。

・来場者数 344人

(42) ほうらい会館運営費

[市民相談人権課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
441,000	385,064	国庫		地方債		186,064
		県費	100,000	その他	99,000	

地域住民の交流を深めるとともに、生活文化の振興を図るため、各種事業を実施した。

・主な自主事業の実施状況

区 分	事 業 名	延べ参加者数（人）
相 談 事 業	くらしの講座	9

区 分	事 業 名	延べ参加者数 (人)
啓 発 ・ 広 報	館報の発行 (250 部、5 回発行)	—
	平和啓発パネル展示	86
そ の 他 の 事 業	歌のつどい(3 回)	68
	使える折り紙教室 (1 回)	10
	お飾り教室 (1 回)	15
	会館まつり (1 回)	973
	くらしの講座 (7 講座)	119
	コツコツ貯筋体操 (4 回)	78
	健康ハイキング (1 回)	12
	さわやか体操 (57 回)	416

(43) ほうらい児童館運営費

[市民相談人権課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
331,000	283,464	国庫		地方債		145,713
		県費		その他	137,751	

児童の交流と健全な成長を図るため、文化活動事業を実施した。

事 業 名	開催回数	参加者数 (人)
子ども映画会	1 回	18
書初め大会	1 回	3
どんど焼きだんごづくり	1 回	19
児童館フェア	1 回	84
似顔絵展 (1 園、19 作品)	1 回	24
こども料理教室	1 回	10
そうめん流し	1 回	37
子ども科学ランド	1 回	14

(44) 人権啓発事業等補助金

[市民相談人権課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
594,000	594,000	国庫		地方債		594,000
		県費		その他		

「秦野市人権啓発事業等補助金交付要綱」に基づき、協力団体 (2 団体) が実施した人権相談及び人権啓発事業に対し、事業費の一部を補助した。

交付団体名	事 業 内 容	事業費 (円)	補助金額 (円)
部落解放同盟	人権・生活相談等件数 75 件	600,000	297,000
	人権啓発事業件数 51 件	308,000	
神奈川県地域 人権運動連合会	人権・生活相談等件数 79 件	616,200	297,000
	人権啓発事業件数 9 件	50,000	

※補助額 1 団体当たり事業費の 2 分の 1。ただし、限度額 297,000 円。

(45) 人権啓発事業費

[市民相談人権課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
1, 100, 000	979, 611	国庫		地方債		723, 611
		県費	256, 000	その他		

人権を尊重し多様性を認め合う意識を高めるため、「秦野市人権施策推進指針」に基づき、啓発活動を実施した。

・人権啓発事業

事業名	内 容	実施日	会 場	対象者	参加者数
人権問題講演会	「ウィズユー講演会」として、生徒を対象に「愛と優しさで人は育つ」をテーマに講演会を開催した。	10月24日	大根中学校	2年生	119人
		11月22日	渋沢中学校	1年生 2年生	230人
		令和6年 1月19日	本町中学校	2年生	214人

(46) 社会を明るくする運動事業費

[市民相談人権課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
189, 000	188, 669	国庫		地方債		188, 669
		県費		その他		

犯罪や非行のない明るい社会を築くため、関係機関との連携を図り、第73回「社会を明るくする運動」を実施した。

ア 社会を明るくする運動の強調月間 7月

イ 行動目標

(ア) 犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くための取組を進めよう

(イ) 犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支えよう

ウ 実施内容

駅頭・街頭啓発、パネル展示、啓発品の配布、横断幕とポスターの掲示、広報紙への掲載により、運動の趣旨の周知を図った。

(47) 犯罪被害者等支援事業費

[市民相談人権課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
1, 536, 000	242, 677	国庫		地方債		242, 677
		県費		その他		

支援金の支給、日常生活支援、法律相談、カウンセリングなど、総合支援窓口として関係機関と連携を図り、対応するとともに、被害者等の支援について周知・啓発した。

ア 犯罪被害者等支援

・相談件数 3件（うち支援金申請件数3件）

イ 普及・啓発

(ア) 犯罪被害者支援講演会（犯罪被害者遺族による講演及び本町中学校邦楽部演奏会）

- ・実施日 12月9日
- ・会場 秦野市役所教育庁舎3階会議室
- ・講師 近藤 さえ子 氏（犯罪被害者遺族）
- ・参加者数 41人

(イ) 犯罪被害者週間（11月25日～12月1日）

- ・教育庁舎及び図書館に啓発コーナーを設置
- ・秦野駅に設置の電子掲示板による啓発

(48) スポーツ大会等実施経費

[スポーツ推進課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
5,963,000	5,952,322	国庫		地方債		1,690,643
		県費		その他	4,261,679	

日常的なスポーツの習慣化や健康増進に向けた取組として「はだのチャレンジデー2023」を開催し、前回と比較して最も参加率の上がった自治体として、参加率アップ賞を受賞した。

また、はだの丹沢水無川マラソン大会については、4年ぶりに5kmの部及びまめっこの部を実施し、全国から参加した多くの選手に本市の魅力に触れていただくとともに、市民のスポーツ環境の醸成を図った。

ア はだのチャレンジデー2023

- ・実施日 5月31日
- ・対戦市 丸亀市
- ・参加者数 91,093人
- ・参加率 57.1%

イ 第19回はだの丹沢水無川マラソン大会

- ・実施日 12月3日
- ・開催 ハーフマラソンの部、5kmの部、まめっこの部
- ・参加者数 1,612人

ウ 第69回秦野市駅伝競走大会

- ・実施日 令和6年1月14日
- ・場所 市内周回コース
- ・参加チーム数 31チーム

(49) 学校体育施設開放経費

[スポーツ推進課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
9,898,648	9,634,148	国庫		地方債		7,416,548
		県費		その他	2,217,600	

市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として、小・中学校の体育施設を地域住民に開放した。

また、学校体育施設開放による利用団体の利便性の向上と負担軽減を目的として、施設予約システムを導入するとともに、電子錠の試行運用を実施した。

なお、プールの開放については、小学校9校で実施した。

ア 体育館、グラウンド（南中学校ナイター含む。）及び格技室の開放

体育館 22校 利用者数 延べ 187,293人

グラウンド 16校 利用者数 延べ 89,216人

格技室 7校 利用者数 延べ 19,911人

イ プールの開放

・期間 7月21日～27日（上小学校は7月21日～23日、27日～29日）

・開放校 9小学校 利用者数 延べ 1,902人

(50) スポーツ連携推進事業費

[スポーツ推進課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
2,124,312	2,062,650	国庫		地方債		1,062,650
		県費		その他	1,000,000	

全国で13自治体目となる「女子野球タウン」に認定されたことを機に、全日本女子野球連盟とともに、「全国女子中学生硬式野球選手権」を本市で開催した。

また、全国から集まった選手等に秦野の魅力に触れていただくとともに、「女子野球タウンはだの」としてのPR活動に努めた。

さらに、湘南ベルマーレと連携し、市内小学校の在校生とその保護者をホームゲーム等の観戦に招待する事業を実施した。

上智大学等と連携し「はだのパラスポーツフェスティバル」を開催し、パラスポーツやユニバーサルスポーツ体験等を通じて、誰もが個性や能力を発揮し活躍できる社会の実現に努めた。

ア 全国女子中学生硬式野球選手権大会補助金

行事名	開催期日	参加チーム数	会場
第9回全国女子中学生硬式野球選手権大会	7月29日～8月2日	19チーム	中栄信金スタジアム秦野 上智大学秦野キャンパス野球場

ボトルドウォーター「おいしい秦野の水」オリジナルボトル 1,200本

イ 湘南ベルマーレ

親子招待事業 全14試合

ボトルドウォーター「おいしい秦野の水」オリジナルボトル 1,200本

ウ はだのパラスポーツフェスティバル2023

・実施日 10月8日

・内容 上智大学学生による障害のある生活体験、日本パラクライミング協会によるボルダリング体験、鉄道弘済会による展示・販売、ユニバーサル野球、パラスポーツ・ユニバーサル教室体験ほか

・場所 本町公民館、イオン秦野ショッピングセンターくすのき広場

・参加者数 約900人

(51) サンライフ鶴巻維持管理費

[スポーツ推進課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
29,837,882	27,753,790	国庫		地方債		23,100,681
		県費		その他	4,653,109	

市民の主体的な活動及び交流の場を提供し、市民の健康の維持・増進を図った。

ア 施設の概要

体育室、トレーニングルーム、創作活動室、大会議室、小会議室、特別会議室、和室(2室)

イ 利用者数 延べ 45,679人

(52) スポーツ広場維持管理費

[スポーツ推進課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
9,645,118	8,924,601	国庫		地方債		8,295,709
		県費		その他	628,892	

多くの市民が安全・安心にスポーツ活動ができるよう、各スポーツ広場の維持管理に努めた。

広場名	面積（㎡）	施設の概要	延べ利用者数（人）
なでしこ運動広場	28,419	多目的広場	20,765
		テニスコート（6面）	13,952
		ゲートボール場	1,089
		管理事務所	—
		小　　計	35,806
末広自由広場	4,984	自由広場	11,806
寺山スポーツ広場	4,579	スポーツ広場	12,631
柘窪スポーツ広場	10,000		586
立野緑地スポーツ広場	6,100		12,082
テクノスポーツ広場	6,994		9,875
計			82,786

(53) はだの丹沢クライミングパーク管理運営費

[スポーツ推進課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
24,664,000	24,555,150	国庫		地方債		20,921,685
		県費		その他	3,633,465	

ボルダー教室や小・中学生を対象とした市主催のボルダー競技会「2023 スポーツクライミング はだの丹沢カップ」の開催等を通じて、スポーツクライミングの裾野拡大を図った。

また、県高等学校体育連盟等主催の「神奈川県高等学校体育大会スポーツクライミング」や県山岳連盟主催の「神奈川カップ」が開催されるなど、国内有数、県内唯一のクライミング拠点として、施設の魅力向上に努めた。

ア 利用者数及び来場者数

区分	延べ人数 (人)
利用者	15,086
来場者 (付添い・見学者含む。)	23,228

イ ボルダリング教室の開催

区分	回数 (回)	延べ参加者数 (人)
初級A	20	177
初級B	14	117
初級C	8	63
中級	3	29
上級	3	11
計	48	397

ウ 主な大会実績

- ・スポーツライミング神奈川県代表選考会（神奈川カップ）
- ・第61回神奈川県高等学校総合体育大会スポーツライミング大会
- ・2023 スポーツライミングはだの丹沢カップ
- ・令和5年度神奈川県高等学校新人大会

(54) スポーツ施設改修事業費

[スポーツ推進課]

単位：円

予 算 現 額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳				一 般 財 源
		特 定 財 源				
2, 660, 000	2, 008, 160	国庫		地方債		475, 640
		県費		その他	1, 532, 520	

スポーツ施設を安全・安心なものとし、快適かつ充実した利用環境とするため、老朽化したスポーツ施設の改修工事等を実施した。

- ・テクノスポーツ広場トイレ改修工事 1,532,520 円
- ・末広自由広場フェンス改修工事 475,640 円

(55) 都市交流事業費

[文化振興課]

単位：円

予 算 現 額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳			
		特 定 財 源			一 般 財 源
9,614,000	7,363,749	国庫		地方債	7,363,749
		県費		その他	

市民の国際感覚と理解を深めるため、姉妹都市等との交流を促進した。

ア 国外姉妹都市（アメリカ・テキサス州パサデナ市）との交流促進

市民のパサデナ市への理解と交流を促進するため、秦野パサデナ友好協会と協働で事業を実施した。

(ア) 姉妹都市交流紹介動画を秦野駅に設置のデジタルサイネージで発信した。

- ・実施日 9月1日～30日
- ・内 容 より多くの市民に姉妹都市交流のすばらしさを伝えるため、30秒の広告動画を1日約100回、1か月間再生した。

(イ) 青少年交流促進事業「オンライン交流会」

- ・実施日 10月20日
- ・内 容 トンプソン中学校の生徒とのオンライン（ZOOM）交流
- ・参加者数 11人

(ウ) 姉妹校交流促進

パサデナ市の小・中学校と姉妹校提携を結んでいる市内小・中学校の作品交換交流を支援した。

(エ) 情報誌「Howdy」の発行

交流事業等の報告を記載した情報誌を2回発行した。

(オ) 青少年訪問団パサデナ市派遣事業

- ・実施日 令和6年1月5日～11日
- ・内 容 パサデナ市へ青少年訪問団を派遣し、ホームステイや姉妹校を訪問
- ・訪問者数 9人

イ 国外友好都市（韓国・京畿道坡州市）との交流促進

秦野・坡州友好協会と協働し、坡州市民との交流を促進した。

(ア) 坡州市代表团来秦事業

- ・実施日 4月14日～16日
- ・内 容 坡州市長を含む坡州市代表团が来秦。市長表敬訪問、秦野丹沢まつりへの参加、秦野市内の視察等を行った。
- ・来秦者数 16人

(イ) 坡州市英語村中学生派遣事業

- ・実施日 8月7日～12日
- ・内 容 坡州市の英語村に市内中学生を派遣。現地中学生と5日間の英語学習プログラムに参加
- ・参加者数 20人

(ウ) 坡州市中学生歓迎事業

- ・実施日 9月23日～25日
- ・内 容 8月の英語学習プログラムに参加した坡州市及び秦野市の中学生が表丹沢野外活動センターに宿泊し、キャンプファイヤー等を実施した。
- ・参加者数 坡州市19人 秦野市20人

(エ) 秦野市代表团坡州市訪問

- ・実施日 10月20日～22日
- ・内 容 坡州市からの招待を受け、開城人參祭りに合わせ市長が坡州市を訪問。官民が一体となって交流促進を図るため、秦野・坡州友好協会のメンバーも同行し、友好を深めた。
- ・訪問者数 12人

(オ) 少年サッカー交流事業

- ・実施日 12月16日～18日
- ・内 容 坡州市小学生サッカーチームと秦野市選抜チームが、NITTANパークおおねスポーツ広場で交流試合を実施。試合後には秦野商工会議所で交流会を実施した。
- ・参加者数 坡州市32人 秦野市44人

ウ 中学生英語スピーチコンテスト事業

次代を担う青少年の国際感覚及び平和意識の醸成、英語力の向上を図るため、スピーチコンテストを開催した。

- ・実施日 9月17日
- ・内 容 市内在住中学生による英語スピーチの発表及び表彰
- ・出場者数 中学生17人

(56) 平和推進事業費

〔文化振興課〕

単位：円

予 算 現 額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳				一 般 財 源
		特 定 財 源				
1,314,000	1,260,281	国庫		地方債		1,260,281
		県費		その他		

平成20年6月に制定した「秦野市平和の日」の趣旨を広めるため、市民一人ひとりが平和の大切さを考える機会として各種啓発事業を実施した。

ア 平和の日事業

8月19日にピースキャンドルナイト及びはだの平和の日のつどいを開催した。

(ア) ピースキャンドルナイト

- ・内 容 クアーズテック秦野カルチャーホール市民広場に手作りキャンドル約4,000個を設置して点灯した。
- ・参加者数 イベントサポーター 約100人
- ・来場者数 約600人

(イ) はだの平和の日のつどい

- ・内 容 弦楽アンサンブル、バンド演奏、フラダンス等の公募団体6組が平和への願いを込めたパフォーマンスを披露するコンサートを実施した。
また、8月6日「広島原爆の日」に合わせて被爆地広島を訪問した「親子ひろしま訪問団」の活動報告を実施した。
- ・来場者数 233人

イ 親子ひろしま訪問団の実施

戦争の悲惨さや平和の尊さを学ぶため、被爆地広島に公募親子5組10人を派遣した。

- ・実施日 8月5日～7日
- ・内 容 平和記念式典への参列、平和記念資料館・原爆ドームなどの見学、被爆体験聴講
- ・報告会 8月19日のはだの平和の日のつどいに、市長への報告会を実施
- ・「被爆アオギリ二世」の植樹 8月末～9月に、広島市から譲り受けた苗木を団員が在籍する市内小・中学校5校に植樹

ウ 平和を考えるフォーラム

「はだの・平和都市宣言につどう会」と協働し、パネル展及びポスター展を開催した。

名 称	内 容	実 施 日	来場者数
第55回平和を考えるフォーラム（平和パネル展）	DVD 上映、平和絵本の展示、若者が描く平和のイメージポスター展示、戦争の語り場等	8月19日～20日	126人
第56回平和を考えるフォーラム	第1部 「シロタ家の20世紀」	令和6年3月3日	45人
	第2部 「陸軍登戸研究所」		52人

(57) 男女共同参画推進事業費

〔市民相談人権課〕

単位：円

予 算 現 額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳				
		特 定 財 源				一 般 財 源
3, 212, 000	2, 828, 245	国庫	984, 000	地方債		1, 844, 245
		県費		その他		

「第4期はだの男女共同参画プラン」を効果的に推進するため、市民推進組織「はだの市民が創る男女共同社会推進会議」と協働し、男女共同参画社会への意識の普及啓発を進めるとともに、女性相談室による相談業務を実施した。

ア 普及啓発

(ア) 情報誌「パートナー」の発行

- ・年1回発行 37,000部（新聞折り込みにて配布ほか）
- ・発行日 令和6年3月22日

(イ) 女性に対する暴力をなくす運動期間（11月12日～25日）

- ・本庁舎に横断幕を掲示、教育庁舎及び図書館で啓発ブースを設置
- ・運動の象徴であるパープルリボンにちなみ、本庁舎入口でパープル・ライトアップを実施

(ウ) 女性のエンパワーメント事業

県、厚木市との共催による「女性happy ビジネススキルアップ講座」（全2回）を実施

- ・テーマ ①「強みを活かし、私らしく進む講座」
②「起業・副業に活かす 想いが伝わる SNS 発信・コミュニケーション講座」
- ・実施日 11月12日、19日
- ・受講者数 延べ36人

イ 女性相談室

夫婦及び家族のトラブル、配偶者などからの暴力（DV）の相談

- ・毎週月～木曜日、毎月第2土曜日
- ・相談件数 延べ198件

(58) 固定資産税賦課費

[資産税課]

単位：円

予 算 現 額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳				
		特 定 財 源			一 般 財 源	
55,297,000	51,256,914	国庫		地方債		51,056,914
		県費		その他	200,000	

土地の分筆・合筆及び家屋の新築・増築等の異動状況を的確に捉え、「固定資産評価基準」に基づき、適正かつ公平な評価・課税事務を行うとともに、令和6年度固定資産評価替えに向けた事務を実施した。

- ・標準宅地の時点修正委託業務 3,538,260円
- ・固定資産宅地評価システム委託業務 14,839,000円
- ・固定資産税納税通知書作成委託業務 8,189,522円
- ・家屋経年異動判読委託業務 1,760,000円
- ・固定資産（家屋）評価補助委託業務 1,029,600円

(59) 還付金及び還付加算金

[市民税課]

単位：円

予 算 現 額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳				一 般 財 源
		特 定 財 源				
100,000,000	71,910,853	国庫		地方債		71,910,853
		県費		その他		

市税の過誤納金について還付した。

- ・還付金 1,818件 69,616,853円
- ・還付加算金 47件 2,294,000円

(60) 総合窓口受付経費

[戸籍住民課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
71,046,000	66,281,376	国庫	6,000	地方債		39,815,816
		県費		その他	26,459,560	

住所地において居住関係を公証する住民基本台帳制度及び本籍地において親族的身分関係を公証する戸籍制度に基づき、住民異動・戸籍届の受付及び各種証明書の交付等を行った。

また、マイナンバーカードを利用した各種証明書のコンビニ交付サービス及び遺族支援窓口「おくやみコーナー」の設置により、利便性の向上を図った。

・総合窓口証明等発行件数

単位：件

区 分	有 料	左のうちコンビニ 交付サービス分	無 料	計
戸 籍	27,246	－	4,260	31,506
住 民 票	50,803	10,199	4,171	54,974
印 鑑 証 明	26,821	8,510	33	26,854
諸 証 明	1,366	－	118	1,484
自動車臨時運行	816	－	0	816
斎場使用	1,973	－	123	2,096
税 証 明	3,668	751	19	3,687
計	112,693	19,460	8,724	121,417

・各種業務取扱い件数

単位：件

区 分	件 数
住 民 異 動 関 係	21,072
国保・後期高齢・年金・介護・児童手当	10,979
印 鑑 登 録	9,322
埋 火 葬 等	1,563
計	42,936

(61) 連絡所経費

[戸籍住民課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
56,412,334	53,894,831	国庫		地方債		35,384,541
		県費		その他	18,510,290	

4 駅及び8 公民館に設置する連絡所等において、各種証明書の交付等を行った。

・連絡所等別証明発行件数

単位：件

区分	秦野駅	大根	鶴巻	渋沢駅	上	東	渋沢	南が丘	北	堀川	東海大学前駅	緑郵便局	鶴巻温泉駅	計
戸籍	1,083	354	262	1,512	83	340	235	387	489	414	777	81	827	6,844
住民票	2,828	1,287	699	4,102	209	1,345	548	1,213	1,375	1,129	2,503	299	1,949	19,486
印鑑証明	2,264	1,277	821	3,952	296	1,396	798	1,557	1,644	1,433	1,879	181	1,649	19,147
税証明	758	457	221	961	60	257	169	288	308	391	820	14	766	5,470
諸証明	65	17	22	58	10	22	8	22	18	23	41	0	37	343
計	6,998	3,392	2,025	10,585	658	3,360	1,758	3,467	3,834	3,390	6,020	575	5,228	51,290

(62) 住民基本台帳ネットワークシステム経費

[戸籍住民課]

単位：円

予算現額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳				一般財源
		特定財源				
21,237,000	20,238,202	国庫	11,999,440	地方債		8,238,762
		県費		その他		

全国の市区町村の住民基本台帳をお互いに連携させることで、全国共通の本人確認を可能とする住民基本台帳ネットワークシステムを使用し、住民票の広域交付等を実施した。

また、戸籍情報システムとの連携を目的とした法改正に対応するため、システムを改修した。

(63) 個人番号カード交付事務経費

[戸籍住民課]

単位：円

予 算 現 額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳				一 般 財 源
		特 定 財 源				
89,106,228	59,471,366	国庫	58,531,589	地方債		939,777
		県費		その他		

社会保障・税番号制度（個人番号制度）の実施に伴い、個人番号カードを交付した。

・個人番号カード申請・交付件数（令和6年3月末日現在）

対象者数 159,646 人

申請件数 138,402 件（申請率 86.69%）

交付件数 123,658 件（交付率 77.46%）

(64) マイナポイント事業費

[戸籍住民課]

単位：円

予算現額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
18,996,000	8,152,920	国庫	8,152,920	地方債		
		県費		その他		

マイナポイント事業第2弾の実施に伴い、ポイントの付与を希望するものの、自身での申込みが難しいという方に対して、専用窓口を設置し、支援を行った。

・マイナポイント申込支援人数 9,841 人（9月30日まで）

(65) 戸籍住民登録事務費（繰越明許分を含む。）

[戸籍住民課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
84,480,438	77,859,096	国庫	23,496,000	地方債		51,336,980
		県費	125,823	その他	2,900,293	

戸籍の届書を受理し、戸籍簿に記載した。

・戸籍届出事務処理件数

6,349 件（出生 987 件、婚姻 1,190 件、離婚 373 件、死亡 2,221 件、その他 1,578 件）

(66) 選挙管理委員会経費及び選挙管理委員会事務局費

[選挙管理委員会事務局]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
1,952,000	1,844,841	国庫		地方債		1,832,886
		県費	11,955	その他		

選挙管理委員会の会議を開催し、選挙関係議案を審議及び議決した。

・委員数 4 人 任期 4 年

・開催回数 17 回

・議案審議件数 66 件

・選挙人名簿登録者数（令和 6 年 3 月 1 日定時登録）

男 67,045 人 女 67,644 人 計 134,689 人

・在外選挙人名簿登録者数（令和 6 年 3 月 1 日現在）

男 44 人 女 54 人 計 98 人

(67) 選挙啓発費

[選挙管理委員会事務局]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
344,000	322,344	国庫		地方債		322,344
		県費		その他		

有権者の政治意識の高揚を図るとともに、明るくきれいな選挙を推進するため、次の事業の実施を通じて啓発に努めた。

ア 明るい選挙ポスターコンクール

市内の小・中学生を対象に選挙ポスターコンクールを実施した。

応募数 29 点、入選 11 点（金賞 2 点、銀賞 3 点、銅賞 3 点、佳作 3 点）

イ 新有権者への啓発通知の送付 1,342 通

(68) 県知事及び県議会議員選挙執行費

[選挙管理委員会事務局]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
40,200,000	34,177,176	国庫		地方債		
		県費	34,177,176	その他		

任期満了に伴う県知事及び県議会議員選挙を執行した。

- ・任 期 知事 4月22日 県議 4月29日
- ・告示日 知事 3月23日 県議 3月31日
- ・選挙期日 4月9日
- ・当日有権者数 知事 男 66,274人 女 66,908人 計 133,182人
県議 男 66,272人 女 66,906人 計 133,178人
- ・立候補者数 知事 4人 県議 3人(定数2人)

(69) 市議会議員選挙執行費

[選挙管理委員会事務局]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
87,735,000	78,644,313	国庫		地方債		78,644,313
		県費		その他		

任期満了に伴う市議会議員選挙を執行した。

- ・任 期 9月10日
- ・告示日 8月20日
- ・選挙期日 8月27日
- ・当日有権者数 男 66,547人 女 67,104人 計 133,651人
- ・立候補者数 36人(定数24人)

(70) 基幹統計調査費

[行政経営課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
8,997,000	7,808,036	国庫		地方債		
		県費	7,808,036	その他		

国の基幹統計調査として、次の統計調査を実施した。

名 称	調査時点	対 象 件 数
学校基本調査	5月1日	市立小学校13、市立中学校9、 市立幼稚園7、幼保連携型認定こども園8(市立5私立3)、私立幼稚園2、専修学校1
住宅・土地統計調査	10月1日	249調査区、4,137世帯

(71) 県単独統計調査費

[行政経営課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳			
		特定財源			一般財源
21,000	16,331	国庫		地方債	
		県費	16,331	その他	

人口動態の基礎資料を得るため、次の統計調査を実施した。

名 称	調 査 時 点
神奈川県人口統計調査	毎月1日現在
神奈川県年齢別人口統計調査	令和6年1月1日現在

(72) 統計調査員確保対策費

[行政経営課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳			
		特定財源			一般財源
63,000	28,346	国庫		地方債	
		県費	28,346	その他	

統計調査員会報誌の発行及び統計調査員研修会を実施し、調査知識の向上及び調査員相互の交流と連携を図った。

ア 研修会

- ・開催日 令和6年2月29日
- ・場所 市本庁舎講堂
- ・参加者数 28人

イ 会報誌（ほほえみ）の発行

- ・発行月 令和6年3月
- ・発行部数 100部

(73) 監査委員経費

[監査事務局]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳			
		特定財源			一般財源
4,225,000	4,004,584	国庫		地方債	
		県費		その他	4,004,584

「地方自治法」に基づき、定期監査、出納検査及び決算審査等を実施した。

- ・委員数3人 任期4年
- ・監査等の実施状況

名 称	対象数	延べ日数（日）
定 期 監 査	74課等	12
工 事 監 査	1件	4
財政援助団体等の監査	3団体	6
出 納 検 査	9会計	12
決 算 審 査	9会計	17

名 称	対象数	延べ日数（日）
住 民 監 査 請 求	—	—
健 全 化 審 査	12 会計等	5
そ の 他	—	—
計	—	56